

いばらきネットモニター 自転車損害賠償責任保険等の加入状況に関するアンケート

1. 調査の概要

(1) 調査形態

調査時期：平成31年3月13日（水）～3月25日（月）まで

調査方法：インターネット（アンケート専用フォームへの入力）による回答

いばらきネットモニター数：442名（県内在住者のみ）

回収率52.5%（回収数232人）

回答者の属性（百分率表示は小数点以下第二位を四捨五入しているため、ここの比率の合計は100%にならない場合がある。）

| | | 人数(人) | 比率(%) |
|-------|--------|-------|-------|
| 全体(n) | | 232 | 100.0 |
| 地域別 | 県北 | 24 | 10.3 |
| | 県央 | 90 | 38.8 |
| | 鹿行 | 13 | 5.6 |
| | 県南 | 77 | 33.2 |
| | 県西 | 28 | 12.1 |
| 性別 | 男性 | 122 | 52.6 |
| | 女性 | 110 | 47.4 |
| 年齢別 | 16～19歳 | 0 | 0 |
| | 20～29歳 | 4 | 1.7 |
| | 30～39歳 | 37 | 15.9 |
| | 40～49歳 | 57 | 24.6 |
| | 50～59歳 | 57 | 24.6 |
| | 60～69歳 | 37 | 15.9 |
| | 70歳以上 | 40 | 17.2 |
| 職業別 | 自営業 | 17 | 7.3 |
| | 会社員 | 71 | 30.6 |
| | 団体職員 | 10 | 4.3 |
| | 公務員 | 5 | 2.2 |
| | 主婦・主夫 | 57 | 24.6 |
| | 学生 | 2 | 0.9 |
| | 無職 | 46 | 19.8 |
| | その他 | 24 | 10.3 |

(2) 調査目的

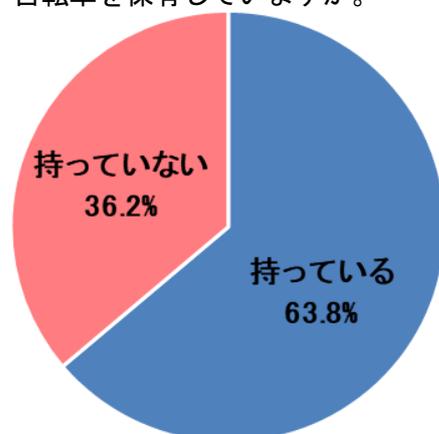
自転車損害賠償責任保険等に関して、その必要性の認識や加入状況等を把握し、今後の施策の参考にするために実施するものです。

担当課 茨城県県民生活環境部生活文化課

電話：029-301-2841 E-mail：seibun6@pref.ibaraki.lg.jp

2. 調査結果と考察

【問1】あなたは、自転車を保有していますか。

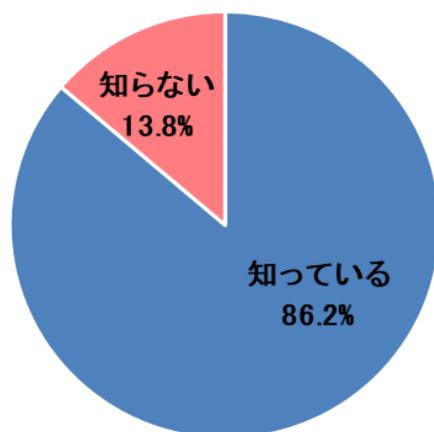


- ◆「持っている」(63.8%)との回答が6割以上で、「持っていない」(36.4%)よりも多かった。
＜年代別の保有者＞

| 年代 | 回答数 (人) | 持っている (人) | 比率 (%) |
|---------|---------|-----------|--------|
| 20～29 歳 | 4 | 3 | 75.0 |
| 30～39 歳 | 37 | 23 | 62.2 |
| 40～49 歳 | 57 | 38 | 66.6 |
| 50～59 歳 | 57 | 31 | 54.4 |
| 60～69 歳 | 37 | 25 | 67.6 |
| 70 歳以上 | 40 | 28 | 70.0 |

- ◆年代別に見ると、20代(75.0%)が最も高く、次いで70歳以上(70.0%)、60代(67.6%)が高くなっている。60歳以上の高齢者が自転車を所有している割合が高く、高齢者の自転車利用が多いことが伺える。

【問2】あなたは、自転車の運行によって生じた他人の生命又は身体の損害を賠償するための保険（以下自転車損害賠償責任保険等という）があることを知っていますか。



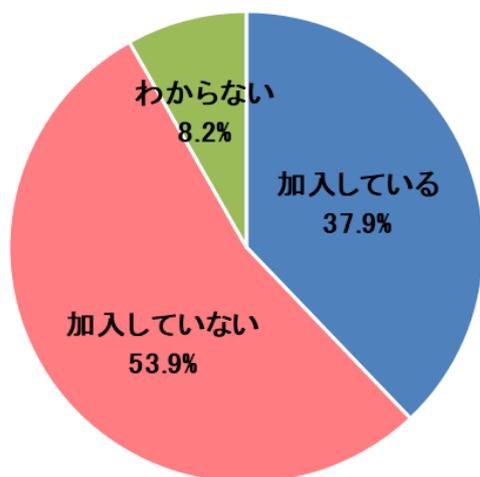
- ◆自転車損害賠償責任保険等の認知度については、「知っている」(86.2%)の割合が8割を超えており、保険の認知度は高いといえる。

<年代別の認知度>

| | 回答数（人） | 知っている（人） | 比率（%） |
|---------|--------|----------|-------|
| 20～29 歳 | 4 | 4 | 100.0 |
| 30～39 歳 | 37 | 32 | 86.5 |
| 40～49 歳 | 57 | 46 | 80.7 |
| 50～59 歳 | 57 | 49 | 86.0 |
| 60～69 歳 | 37 | 34 | 91.9 |
| 70 歳以上 | 40 | 35 | 87.5 |

- ◆自転車賠償責任保険等については、認知度が最も高かったのは20代（100%）で、次いで60代（91.9%）であり、最も低かったのは40代（80.7%）であった。

【問3】あなたは、自転車損害賠償責任保険等（※自転車保険という名称のものだけでなく、自動車保険や火災保険などに特約で付帯されている個人賠償責任保険であって自転車事故の補償を対象とするものも含む）に加入していますか。



- ◆自転車賠償責任保険等の加入状況については、「加入していない」（53.9%）が「加入している」（37.9%）を上回っている。

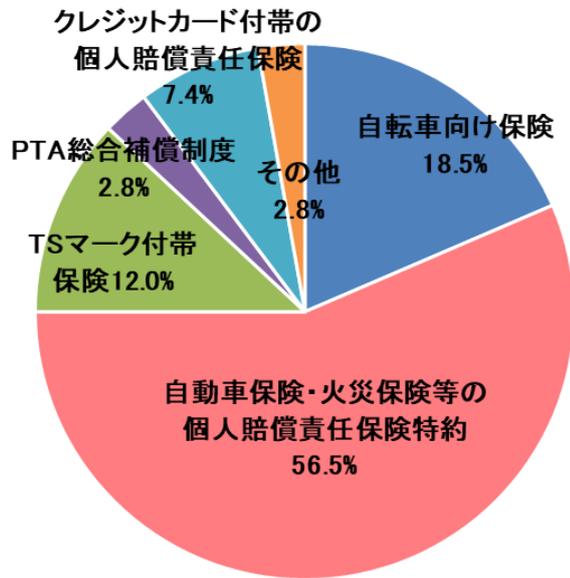
<年代別の加入率>

| | 回答数（人） | 加入している（人） | 比率（%） |
|---------|--------|-----------|-------|
| 20～29 歳 | 4 | 2 | 50.0 |
| 30～39 歳 | 37 | 17 | 45.9 |
| 40～49 歳 | 57 | 24 | 42.1 |
| 50～59 歳 | 57 | 18 | 31.6 |
| 60～69 歳 | 37 | 12 | 32.4 |
| 70 歳以上 | 40 | 15 | 37.5 |

- ◆年代別の加入率では、20代（50.0%）、30代（45.9%）、40代（42.1%）の順であり、若い年代ほど加入率が高い傾向にある。
- ◆認知度と加入率を比べてみた場合、自転車損害賠償責任保険等を86.2%の人が認知している中、自転車損害賠償責任保険等に「加入している」割合が37.9%であり、保険のことは知っているが、加入はしていない人が多い。

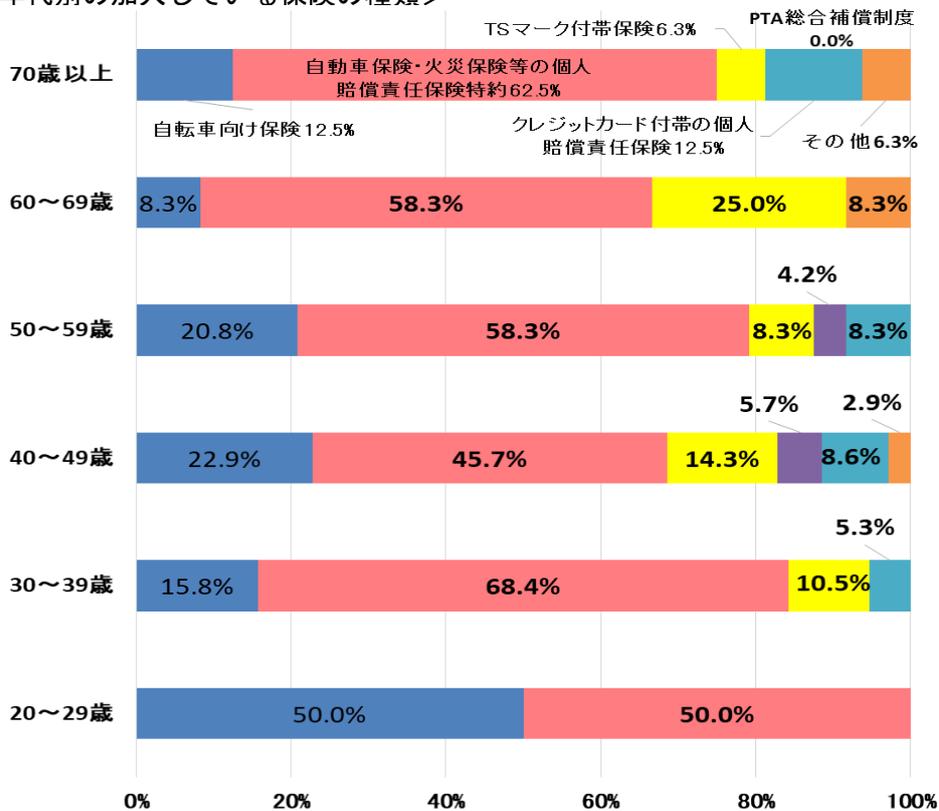
【問4】あなたは、どんな種類の保険に加入していますか。

※【問3】で「加入している」と答えた人のみ回答（複数選択可）。



◆加入している保険の種類では、「自動車・火災保険等の個人賠償責任保険特約」（56.5%）が最も多く、「自転車向け保険」（18.5%）、「TSマーク付帯保険」（12.0%）の順であった。また、その他としては、「県民共済」や「コープ共済」などの回答があった。

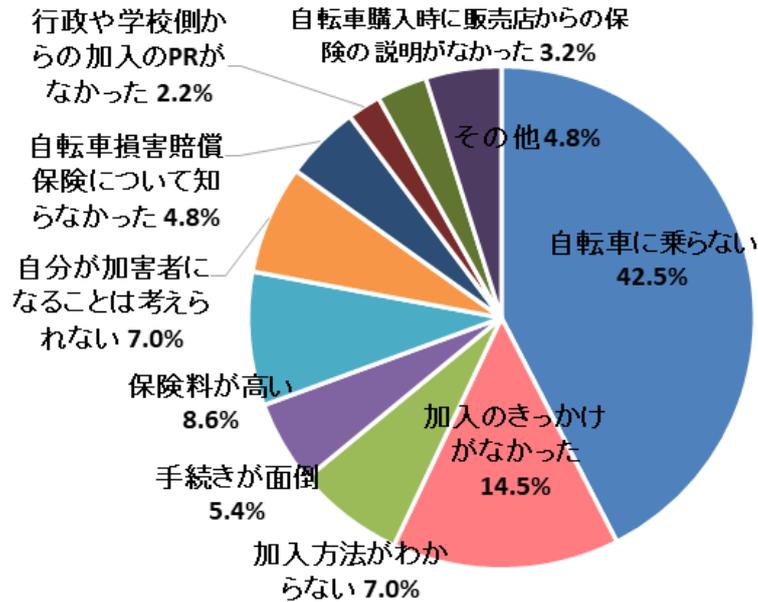
＜年代別の加入している保険の種類＞



◆自転車向け保険の加入は、20代（50.0%）、40代（22.9%）、50代（20.8%）で20%を超え、TSマーク付帯保険の加入は、60代で25.0%となっており、それぞれ他の年代に比べて高くなっているが、どの年代も自動車保険・火災保険等の個人賠償責任保険特約の加入率が一番高い。

【問5】あなたが自転車損害賠償責任保険に加入していない理由は何ですか。

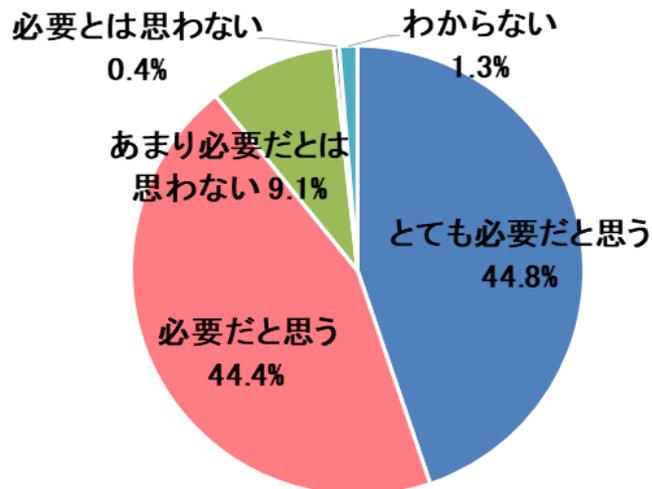
※【問3】で「加入していない」と答えた人のみ回答（複数回答可）。



◆加入しない理由として、「自転車に乗らない」（42.5%）が最も多く、次いで「加入のきっかけがなかった」（14.5%）、「保険料が高い」（8.6%）、「加入方法がわからない」（7.0%）、「自分が加害者になることは考えられない」（7.0%）の順であった。また、その他としては、「自転車保険を知らなかった」、「乗っても1キロ未満の短距離だから」などの回答があった。

◆加入していない理由として、「加入のきっかけがなかった」、「保険料が高い」、「加入方法がわからない」、「自分が加害者になることは考えられない」の回答があり、広報・啓発活動を強化し、県民に対して、引き続き情報提供に努める必要性がある。

【問6】あなたは、自転車損害賠償責任保険に加入することについてどう思いますか。



◆自転車損害賠償責任保険の加入については、「とても必要だと思う」（44.8%）と「必要だと思う」（44.4%）を合わせると約9割の人が保険加入の必要性を感じている。「あまり必要だとは思わない」（9.1%）、「必要だとは思わない」（0.4%）あり、必要性を感じていない人の割合は1割未満であった。